

手軽に

クレアチン補給!

身体に

リハビリ中のお客様に
お勧めしています。(整体師 40代男性)
物忘れが多くなったので
1日1本飲んでます。(会社員 30代男性)

年齢に

職場での階段の上り下りが
大変なので愛飲しています。
(清掃業 60代女性)
つらい夜勤もつらくなくなりました。
(介護福祉士 50代女性)

運動に

ジョギング前の1本は
日課にしたいと思います。
(無職 60代男性)
ゴルフプレイの後半も
前半と同じ様にプレイしています。
(会社員 50代男性)

食事に

忙しくて食生活の乱れが気になるので
飲んでます。(会社員 40代女性)
ダイエット中は疲れやすくなるので
飲み始めました。(団体職員 20代女性)



*あくまで個人の感想であり、効果・効能を示すものではありません。

クレアチンウォーター

アズノン[®] 3000

低カロリー
飲料

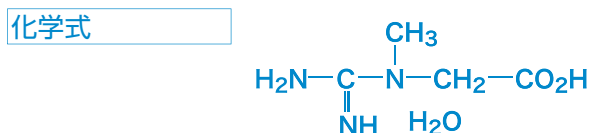
100mlあたり
6kcal

クレアチン豆知識

慣用名	クレアチン (Creatine) メチルグリコシアミン (Methylglycocyamine)
体系名	N-グアニル-N-メチルグリシン (N-Guanyl-N-methylglycine) 1-メチルグアニジノ酢酸 (1-Methylguanidinoacetic acid)
分子式	C ₄ H ₉ N ₃ O ₂

食品用クレアチン クレアチン・モノハイドレート (Creatine Monohydrate)

分子式 C₄H₉N₃O₂ · H₂O



分子量 149.15

CAS.No 6020-87-7

MITI.No (2)-3146



クレアチンは、生体内において、アミノ酸であるアルギニンとグリシンから数種の酵素の触媒作用により合成され、最終的に筋肉にクレアチンリン酸として蓄積されます。筋肉というエンジンを動かすためのエネルギー源としてATP (アデノシン3リン酸) が必要ですが、クレアチンリン酸はこのATP合成と密接に関係し、エネルギー源が不足しない役目を担っています。

1993年のバルセロナオリンピック陸上競技100mの金メダリストのリンフォード、クリスティ (英) が「クレアチン・モノハイドレートにより、トレーニング中のパワーを持続させ、疲労を少なくし瞬発力を向上させたので勝利することができた」という記事がイギリスの新聞に掲載されてから、クレアチンは世界中の多くのスポーツ選手に愛用されるようになりました。

肉や魚にも0.2%程度 (100gで200mg) 含有され食事からも摂取されていますが、充分量を補給するには粉末結晶状の商品を購入しなければなりません。日本では2001年より正式手続きにより食品として販売できるようになり、現在多くの製品がサプリメントとして市販されています。しかし元来クレアチンは難溶性な上、容易に再結晶化するので、摂取するにはお湯で溶かして直ちに飲む必要があり、広く普及しないままとなっていました。

「クレアチンウォーター アズノン3000」は、いつでも手軽に摂取できるように、クレアチンを世界で初めて水溶化した(特許番号: 第3595373号)画期的な商品です。

あなたの生活にもクレアチンをとりいれて、生体の恒常性の維持、生活の質の維持向上にお役立て下さい。

◎クレアチンに関する論文など

- 1.クレアチン摂取は高齢者における低強度の筋力トレーニング効果を高める。順天堂大学スポーツ健康科学部運動生理学研究室青木純一郎他。第20回健康医学研究助成論文集；平成15年度p14~21 (2005.3)
- 2.A. Watanabe, N. Kato, T. Kato. Effects of Creatine on mental fatigue and cerebral hemoglobin oxygenation. Neuroscience Research 2002, 42, 279-285.
- 3.M.J. Chrusch, P.D. Chilibeck, K.E. Chad, K.S. Davison, D.G. Burke. Creatine supplementation combined with resistance training in older men. Med. Sci. Sports Exerc. 2001, 33, 2111-2117.
- 4.NIH Announces Phase III Clinical Trial of Creatine for Parkinson's Disease.
For release: Thursday, March22, 2007
- 5.喘息におけるクレアチン有効性についての検討。内田義之

販売店

販売者



株式会社免疫生物研究所

〒370-0831 群馬県高崎市あら町5-1

TEL : 027-320-1724 FAX : 027-310-8045

E-mail do-asth@ibl-japan.co.jp

URL <http://www.ibl-japan.co.jp>